

水道管・下水道管の「健康診断」



私たちの生活を支える水道管と下水道管も、人と同じように定期的な「健康診断」が必要です。近年、全国で水道管や下水道管の破損による事故が増加しており、これにより断水や道路の陥没、近隣住宅への二次被害などが発生し、市民生活に大きな影響を与えています。これらの事故を未然に防ぐために実施している水道管と下水道管の「健康診断」の方法について紹介します。



【水道管の「健康診断」】

水道管は水道水を供給する重要な役割を担っています。

点検

漏水の有無・舗装状態・消火栓や排水栓の腐食状況等を目視で確認

調査

仕切弁等で漏水音の有無を調査

【下水道管の「健康診断」】

下水道管は生活排水を流す重要な役割を担っています。

点検

道路陥没の有無やマンホール蓋の状態、下水道管内部をカメラで確認
マンホール内部に入り目視で確認

調査

小型のカメラを搭載した機械を下水道管の中に入れて内部の状態を確認
大口径管（直径800mm以上）は専門調査員が下水道管内部に入って直接確認

下水道管の「点検」と「調査」

点検（異常の有無の把握）

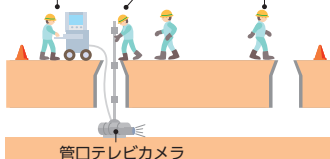
マンホール目視調査



○マンホール蓋及びその周辺状況、マンホール内部を目視調査する。

管口カメラ調査

検査技師 検査助手 検査作業員



管口テレビカメラ

○調査員がマンホール内に直接入らず、地上からテレビカメラをマンホール内に挿入し、管内の状況を確認する。

調査（異常の程度の把握）

テレビカメラ調査



○テレビカメラ調査は内径 150mm 以上 800mm 未満の管や、内径 800mm 以上の管で流量が多い場合や危険性ガスが予測される場合等、調査員が管内に入ることが不可能な場合に実施する。

今後の取り組み

水道管や下水道管の老朽化、更新費用の増大、人口減少、気候変動などの課題や技術者の人材不足も深刻化するなか、今後はAIなど最新技術の活用も視野に入れ、計画的な「健康診断」を通じて問題を早期に発見・修繕し、市民の皆さまの安全と快適な生活環境を守るため、効果的な維持管理に取り組んでいきます。

上下水道事業の紹介動画を
YouTubeで公開中！

